

東京電力地下探査デモンストレーション視察概要

日 時	平成18年9月5日(火) 11時30分～12時
場 所	柏崎刈羽原子力発電所原子力技能訓練センター駐車場
説明者及び スタッフ	東京電力 村山GM(土木)・本田副長(土木)・宮本主任(土木) 長野室長・守GM・阿部副長
参加者	ー委員ー 新野・石田・井比・伊比(智)・伊比(隆)・金子・川口・佐藤・杉浦・武本・ 前田・宮崎・渡辺(仁)・渡辺(丈)委員 ー柏崎刈羽地域担当官事務所ー 沼田所長 ー事務局ー 広報センター 押見事務局長・木村

◆ 視察内容

(1) 実施日時

平成18年9月5日(火)

- ・ 地下探査デモンストレーション・・・・・・・・・・11:30～11:40
- ・ 地下探査観測波形の評価例についての説明・・・・11:40～11:50
- ・ 質疑応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:50～12:00

(2) 実施場所

- ・ 東京電力柏崎刈羽原子力発電所原子力技能訓練センター駐車場

◆ 質疑応答

➤ 委員

1,000mやるのにどれくらいかかって、総距離はどれくらいか。

〈東京電力〉

1,000mで1日ほどかかる。およそ23kmなので、約1ヶ月ほどかかることになる。

➤ 委員

断層があったということは、以前に地震があったということなのか。

〈東京電力〉

この断層が何万年前まで動いていたかということが大事。地下の深部に断層があるかもしれない。ただその断層は、どの年代の地層まで伸びているか、ある年代で止まっていれば、例えば最近100万年は動いていないということ等が、地層などの相関でわかってくる。

➤ 委員

この地下探査のルートを選んだ理由は何か。

〈東京電力〉

発電所を挟んで南と北でやりたいというのが、基本的な考え。この地域の地盤は、東西方向に圧縮力を受けているのでほとんど南北に走る断層が多い。そういう意味で、ある程度の大きさを持っている断層は、南北に走るだろうからということで、まず横方向、東西方向にやれば、南北の測線のどこかに引っかかるのではないかと考えている。

大事なメインな測線（南1測線1，北1測線）が2つあって、その2つのデータを更に信頼性を上げる為に、南2測線と北2測線を設定している。4本大きく線があるが、南北（南1測線，北1測線）のものが今回ねらっている主計測線で、あとの2本はデータを保管する補助測線という位置づけで考えている。

➤ 委員

今回の地下探査で何か問題があった場合はどのようにするのか。

〈東京電力〉

もう1回評価しなおす。まだ指針そのものの改訂も決まっているわけではなく、東京電力は最終的に事が決定してからの調査では間に合わないということで、スタートを早めている。

調査そのものの不足があれば、足してやるようなことは考えている。

➤ 委員

この地域は石油の調査がかなりあって公開されているが、その辺との不整合が出てきたらどうするのか。何年も前に、油田の地下構造図等が公表されていて、東電の見解とかなり違う。そういうことに対して今回どうするのか。

〈東京電力〉

結果によっては、検討させていただくということになるかと思う。

➤ 委員

こういう調査は定期的に行うのか。

〈東京電力〉

指針改訂に伴う調査は、不足がない限りはいちおう今回で終わりとなり、3月までに結果を出したいと考えている。結果については、地域の会にて説明させていただく。

➤ 委員

地下探査の装置は東電のものではないのか。解析も東電でやるわけではないのか。

〈東京電力〉

装置は自社のものでなく、解析のほうも委託者が実施する。

➤ 委員

前回定例会にて、ルートを追加してほしいという意見があったが、どこか追加された場所があるのか。

〈東京電力〉

④のルートが大湊まで追加されている。